

平成21年度 川崎市恵楽園の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎聖風福祉会(川崎区池上新町3丁目1番地8)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	(1)老人福祉法第11条第1項第1号の措置に係る者の入所及び養護に関する業務(養護老人ホーム事業) (2)老人デイサービスセンターの業務(通所介護事業) (3)居宅介護支援の業務(居宅介護支援事業) (4)施設等の維持・管理に関する業務(建物屋上や周辺の植栽の管理等を含む。)

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	21年度管理運営の状況	評価及び指導						
(1) 管理業務の実施状況								
① 施設及び設備の維持・管理	<p>建物、設備に関しては、消防設備及び施設設備点検を自主整備点検として行っているほかは、管理業務を専門業者に委託し、適切に建物及び設備の維持管理に努めた。</p> <p>【委託業務の内容】 エレベータ保守点検、自家用電気工作物点検、電気温水器保守点検、貯水槽清掃、消防設備点検、空調設備点検、調理業務、一般廃棄物収集業務等</p>	<p>開所から17年が経過しており、老朽化に伴い設備面等の不具合が生じているが、外部委託等によって、施設及び設備の維持管理を適正かつ効率的に行っていることが評価できる。</p> <p>今後も、不具合の発生を最小限に抑えるよう指導していく。また、実際に不具合が発生した場合には、早急に対応して利用者へ影響を及ぼさぬよう指導していく。</p>						
② 処遇への取組	<p>安心・安全・快適な生活の提供と利用者のニーズを把握し、良質で適切な支援を実現することを基本方針とし、個別支援計画の作成やケース会議、朝夕の引継ぎ時の情報交換等を通じて職員への情報提供を心がけることなどによって、利用者の処遇向上に努めた。</p> <p>食事の提供については、生活習慣病予防に向けた取組や、給食内容の向上を図るための給食会議を開催するなど、食の改善に努めた。</p> <p>健康管理については、健康診断や予防接種などによって、健康状態の把握及び健康の維持に努めた。また、転倒・打撲防止策として、健康体操を行ったり、外出・散歩の機会を多く作った。</p>	<p>利用者の処遇向上に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>高齢者施設では、利用者の尊厳を尊重し、質の高い個別的なケアを実践することが求められていることから、今後においても、サービスの質の向上に向けた取組を行うよう指導していく。</p>						
③ 職員教育・研修の実施状況について	<p>内部研修や外部研修などに積極的に参加し、支援者として必要な知識、技術、倫理を身に付け、職員の資質向上に努めた。</p> <p>(研修参加状況) ・内部研修 9回 延べ参加人数 162人 ・法人研修 5回 延べ参加人数 25人 ・他施設研修 5回 延べ参加人数 10人 ・外部研修 21回 延べ参加人数 21人</p> <p>(研修内容) 「高齢者の食事について」 「意欲向上研修」 「生活支援としての医療知識」 「健康寿命を延ばすために」 など</p>	<p>研修の受講回数が多く、職員の資質向上に対する意識が高いことや知識、技術を職員間で共有し、業務に反映させていることが評価できる。</p> <p>今後においても、職員の知識向上への取組が施設等の運営に不可欠であることから、積極的に研修を行うなど、職員の教育に力を入れるよう指導していく。</p>						
④ 安全管理について	<p>屋間災害を想定した防災訓練を2回、夜間災害を想定した防災訓練を1回行った。屋間災害を想定した防災訓練の、うち1回は消防署に協力を依頼して、町内会との合同訓練を行うなど、地域の協力を得るための対策を行っている。</p> <p>また、2件の事故が発生したが、いずれも適切な対応であった。</p>	<p>地域と連携しながら防災訓練を定期的に行っており、防災意識が高いことが評価できる。</p> <p>事故についても、適切な処理がなされている。</p> <p>今後についても、安全管理を徹底するよう指導していく。</p>						
⑤ 地域交流の状況について	<p>歌や踊りなどのボランティアを多数受け入れている。</p> <p>また、社会福祉現場実習生や学生現場体験も受け入れている。</p>	<p>多数のボランティアを活用していることが評価できる。</p> <p>今後においても、積極的な地域交流に努めるよう指導をしていく。</p>						
(2) 利用状況								
① 利用状況について	<p>ア 養護老人ホーム 入所定員:140人 年間延べ利用者数 1,306人</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	<p>養護老人ホーム事業については、利用者の高齢化や要介護認定者数の増加に伴い、入院などによる退所者が増加していること、この影響で職員不足が生じていること、</p>
4月	5月	6月	7月	8月	9月			

	<table border="1"> <tr><td>116人</td><td>112人</td><td>109人</td><td>109人</td><td>107人</td><td>107人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>106人</td><td>106人</td><td>105人</td><td>108人</td><td>109人</td><td>112人</td></tr> </table> <p>定員に対する稼働率80.0% (平成22年3月末現在)</p> <p>イ 通所介護事業 利用定員:30人 年間延べ利用者数 5,261人</p> <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>455人</td><td>427人</td><td>471人</td><td>477人</td><td>443人</td><td>455人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>417人</td><td>434人</td><td>381人</td><td>412人</td><td>411人</td><td>478人</td></tr> </table> <p>定員に対する稼働率68.5%(平成21年度)</p> <p>ウ 居宅介護支援事業 年間延べ給付管理者数 257人</p> <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>18人</td><td>15人</td><td>16人</td><td>20人</td><td>21人</td><td>20人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr> <tr><td>20人</td><td>22人</td><td>24人</td><td>26人</td><td>28人</td><td>27人</td></tr> </table>	116人	112人	109人	109人	107人	107人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	106人	106人	105人	108人	109人	112人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	455人	427人	471人	477人	443人	455人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	417人	434人	381人	412人	411人	478人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	18人	15人	16人	20人	21人	20人	10月	11月	12月	1月	2月	3月	20人	22人	24人	26人	28人	27人	<p>いることや、2人部屋ごめらるにめい一人所を希望しない方が多いことなどに起因して入所者数が減少したものと思われる。今後については、施設側の受入れ体制を含めた稼働率向上のための取組を指導していく。</p> <p>通所介護事業及び居宅介護支援事業については、前年度に比べて稼働率の上昇及び給付管理者数の増加が見られる。</p> <p>今後についても、安定した稼働率を維持するとともに、人員欠如などによって利用者へのサービス提供に支障が生じないように指導していく。</p>
116人	112人	109人	109人	107人	107人																																																															
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																															
106人	106人	105人	108人	109人	112人																																																															
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																															
455人	427人	471人	477人	443人	455人																																																															
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																															
417人	434人	381人	412人	411人	478人																																																															
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																															
18人	15人	16人	20人	21人	20人																																																															
10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																															
20人	22人	24人	26人	28人	27人																																																															
② 行事の実施状況	<p>年間を通じて、多彩な行事をおこなっており、花見、七夕、夏祭り、節分など季節性のある行事が多い。</p> <p>また、踊りクラブや書道クラブなどで、地域との交流に力を入れており、入所者の生きがいづくりに努めている。</p>	<p>ボランティアを活用して多様なクラブ活動を行っていることが評価できる。</p> <p>今後においても、利用者の意見を反映する等、季節感のある行事を実施するよう指導していく。</p>																																																																		
(3) 収支状況																																																																				
① 収支状況	<p>ア 収入の状況</p> <table border="1"> <tr><td>養護老人ホーム事業</td><td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td><td>施設合計</td></tr> <tr><td>264,627千円</td><td>54,755千円</td><td>319,382千円</td></tr> </table> <p>養護老人ホーム事業については、主に川崎市からの指定管理委託料を収入として運営されているものである。</p> <p>通所介護事業・居宅介護支援事業については、主に介護保険制度による介護報酬と利用者負担金を指定管理者の利用料金収入として収受したものである。</p> <p>イ 支出の状況</p> <table border="1"> <tr><td>養護老人ホーム事業</td><td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td><td>施設合計</td></tr> <tr><td>251,016千円</td><td>50,634千円</td><td>301,650千円</td></tr> </table> <p>事業運営に必要な人件費・事務費・事業費として支出されたものである。</p> <p>ウ 決算(収支差引)の状況</p> <table border="1"> <tr><td>養護老人ホーム事業</td><td>通所介護事業・居宅介護支援事業</td><td>施設合計</td></tr> <tr><td>13,611千円</td><td>4,121千円</td><td>17,732千円</td></tr> </table>	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	264,627千円	54,755千円	319,382千円	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	251,016千円	50,634千円	301,650千円	養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計	13,611千円	4,121千円	17,732千円	<p>養護老人ホーム事業及び通所介護事業・居宅介護支援事業ともに収入が支出を上回る結果となった。</p> <p>引き続き、予算内で適切かつ安定的な事業運営が図れるよう、継続して指導していく。</p>																																																
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計																																																																		
264,627千円	54,755千円	319,382千円																																																																		
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計																																																																		
251,016千円	50,634千円	301,650千円																																																																		
養護老人ホーム事業	通所介護事業・居宅介護支援事業	施設合計																																																																		
13,611千円	4,121千円	17,732千円																																																																		
評価項目	21年度管理運営の状況	評価及び指導																																																																		
(4) その他																																																																				
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>意見・要望箱を設置して、利用者が意見・要望を伝えやすい環境づくりを整えるとともに、受け付けた意見・要望に対しては、申立者へ返答した。またホーム会議や掲示板を利用して周知を行った。</p> <p>対処内容に納得ができない場合には、公正・中立な立場から判断するため、地域から2名を第三者委員として選任しているが、本年度は第三者委員へつなぐ内容はなかった。</p>	<p>利用者の処遇の向上のため、意見・要望を伝えやすい環境づくりに努めていることが評価できる。また、周知に努めている点も同様である。</p> <p>今後についても、意見・要望に対して適切に対応するよう指導していく。</p>																																																																		
② 個人情報の保護	<p>個人情報保護の規定に基づき、職員は入職時に誓約書を提出し、利用者からは、個人情報使用同意書を提出していただき、職員の秘密保持や、適切な個人情報の取扱いを行い、利用者の個人情報保護に配慮している。</p>	<p>虐待事例による入所者も多いことから、個人情報の保護は他施設より重要であるため、今後についても、個人情報の保護を徹底するよう指導していく。</p>																																																																		

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

入所者の高齢化や介護保険における要介護認定者数が増加している中で、介護保険制度の活用を図るとともに、特別養護老人ホームなど他施設への移転によって安定した生活が維持できるよう配慮している点が評価できる。
また、虐待事例や精神疾患、認知症などの処遇困難な入所者が増加している状況において、サービスの質の向上を目標として、個別支援計画の作成、食事に関する取組、ボランティアを活用した地域交流など、利用者の個別性に沿ったサービス提供を実践していることや、積極的に入所者の生きがいづくりを行っている点が評価できる。

4 平成22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

利用者が安心して生活できるよう、引き続き安全管理・防災対策・個人情報保護を徹底するとともに、職員の資質向上を図り、利用者の処遇に支障が生じないように指導していく。
また、新規入所者を円滑に受け入れられる体制を整えるよう指導していく。